

はらっぱ

平成26年 9月30日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第7号
文責・発行 校長



創立110周年記念 “スクールコンサート” ようこそ、朝倉さや先輩!!

本校創立110周年を記念し、本校出身の歌手である朝倉さやさんをお迎えして、9月26日(金)にスクールコンサートを開催しました。朝倉さやさんは、丁度10年前の本校創立100周年の時に6年生でした。10年ぶりに本校に里帰りし、後輩の子どもたちの前で歌やトークを披露してくださいました。

オープニングからパワー全開、山形弁で歌う「タッチ」「ひだまりの詩」「木綿のハンカチーフ」を素晴らしい声量で歌ってくださいました。

“ようこそ先輩”のコーナーでは、「なぜ山形弁で歌おうと思ったのですか?」「小学校ではどんな思い出がありますか?」「これからの夢は何ですか?」など、代表の子どもたちが質問しました。山形が大好きなこと、小学校6年生の時に児童会で給食委員長をしていたこと、小さい頃から民謡や三味線を習っていて家に帰ると毎日練習していたこと、ずっと歌手になることが夢だったこと、これからは自分の思いを伝えられる歌を作って歌いたいことなどをお話してくださいました。

「南沼原小学校が私の原点。今夢を持っている人も今はまだ無い人も、これから一生懸命頑張ればきっと夢は叶う。辛いときや悲しい時は周りの人に相談して、自分を信じて頑張ってほしい。」という子どもたちへのエールとともに、「やさしい応援歌」「カントリーロード」「ありがとう」を歌ってくださいました。

子どもたちから感謝の気持ちを込めた花束贈呈の後、創立110周年をお祝いして朝倉さや先輩と一緒に校歌を歌いました。そして最後に、満場のアンコールに応じて「東京」を熱唱くださり、感動で涙する子どもたちも見られました。温かい思いが会場一杯に広がる中、握手を求める子どもたちにもみくちやにされながら、会場の真ん中を通過の退場となりました。

創立110周年を記念する、最高に心温まるスクールコンサートになりました。ご協力いただいた同窓会、南沼原地区町内会連合会、PTAの皆様から感謝申し上げます。



“給食運搬車ラッピング”お披露目式

山形市学校給食センターは、平成21年4月にオープンし、山形市内小中学校51校に、17台の学校給食運搬車で学校給食を運んでくださっています。この度、そのうちの2台が新たにラッピングされたことを記念して、9月22日(月)に本校の新グラウンド駐車場を会場に、お披露目式が催されました。



市川昭男山形市長始め沢山のご来賓と一緒に、今回学校を代表して参加した2年生が待つ会場に、特別ゲスト(?)のディーオくんとはながたベニちゃんが登場し、続いて新たにラッピングした給食運搬車2台が到着しました。

今回は、学校給食と山形市上下水道部の安全でおいしい水道水のPRを兼ねて、「はながたベニちゃん」と山形市が応援しているモンテディオ山形の「ディーオくん」を描いた新しいデザインのラッピングになっていました。

市川市長さんから、ラッピング車のご紹介と、山形市の給食は美味しいと評判で、他県からも視察に来ているとのことがありました。2年生の眞田権君と近野心優さんが代表でお礼の言葉を伝え、記念品を受け取りました。

【チームMINAMINUMAHARAの職員の入れ替えがありました】

| | | | |
|-------------|-----------------|---------------------|-----------|
| *お世話になりました。 | 佐竹あき (すずかけ1組担任) | 山本雅子 (特別支援コーディネーター) | 小屋真澄 (主事) |
| *お世話になります。 | 佐竹 翔 (すずかけ1組担任) | 高橋睦子 (特別支援コーディネーター) | 市川美帆 (主事) |

「ブラスバンド」2年連続東北大会出場に拍手!



ブラスバンドの子どもたちは、去る7月13日(日)寒河江市文化会館で開催された「吹奏楽コンクール 村山地区大会」で、『「かみごと」～幼い日に見た祭りの情景～』(指揮:東海林恵里子教諭)を演奏し、県大会への出場を決めました。そして、8月3日(日)に山形県民会館(やまぎんホール)で開催された「吹奏楽コンクール山形県大会」で金賞を受賞し、東北大会出場を手にしました。村山地区大会から一段と磨きを掛けて、見事な演奏でした。いただいた講評も、「祭りの賑わいや躍動感をよく表現している」と好評でした。

そこから、9月13日(土)に秋田県民会館で行われる「全日本吹奏楽コンクール第57回東北大会」に向けて、夏休み中も、さらなる高みを目指して練習に励みました。暑さが続く中、楽器の演奏だけでなく、腹筋を鍛える運動などを取り入れながらの子どもたちの頑張りに拍手です。大会前日の早朝、引率の教員と協力くださる保護者の方々とともに秋田に向かい、東北大会に出場しました。結果は見事銀賞に輝き、いただいた講評も、「表情豊かに生き生きとした演奏だった」「豊かなサウンドでまとまりのある音色感が素晴らしい」「後半の音の伸びがよかった」と好評でした。

子どもたちのこれまでの頑張りに拍手を送るとともに、ご指導いただいた石井修先生、ご協力くださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

【ブラスバンドに入るには?】

8月号「ASAから朝のおたより」(ASA山形南部)に、「うちの子は南沼原小ですが、ブラスバンド部はどうやったら入部できるのかわかりません…募集とかしていたのでしょうか?成績(音楽の)いい子が入れるのかなーと子供がいていました。えらばれた子達ですかね!?!」という投稿が載っていました。

ブラスバンドでは、毎年11月後半に朝休みの時間、6年部員が7~8名で3、4年生の学級を中心に回って演奏を披露し、募集要項を配付して部員を募集しています。やる気があり続ける気があれば、誰でも入部できます。決して、音楽の成績のいい子や、特別な選ばれた子どもたちなどではありません。華やかなステージや目覚ましい活躍は、保護者の方々のご協力の下、人一倍の厳しい練習の積み重ねからなるものです。どうぞ、たくさんの入部をお待ちしています。

☆なお、学校に対する不明な点やお問い合わせがある場合は、新聞やコラム誌などに投稿なさる前に、直接、担任や職員室にご連絡ください。

“第8回南沼原地区スポーツレクリエーション大会”子どもたちの活躍に拍手!

9月28日(日)に、恒例の「南沼原地区スポーツレクリエーション大会」が本校グラウンドで開催されました。緑、黄、赤、青、白、ピンクの旗を先頭に6チームが入場し開会式が行われ、「ペットボトルキャッチボール」を皮切りに競技が始まりました。「コップでジャー」「スリッパ飛ばし」など、南沼原地区オリジナルの競技が満載で、子どもたちも「小学生ボール縄跳び」や「親子ふれあい競争」などに参加しました。

今年は、6年生の小林勇輝君、千野美唯さん、小川桃佳さんが大会を通してアナウンスを担当してくれました。「緑チームがコップをつかんだようです!」「赤旗が挙がる人が多いようです。白旗が揚がるように頑張ってください!」など、真っ赤に日焼けしながら、最後まで素晴らしい実況放送をしてくれました。

熱戦の結果は、1位(黄)富の中チーム1610点、2位(ピンク)吉原チーム1520点、3位(緑)沼木チーム1395点でした。各チームの団結と健闘に拍手です。



ブラスバンドの演奏で花を添えました

昼食休憩時に、ブラスバンドの子どもたちが演奏を披露し、大会に花を添えました。曲目は、東北大会で演奏した『「かみごと」～幼い日に見た祭りの情景～』と、新たに練習した『上を向いて歩こう』、アンコールに代えて『学園天国』の3曲でした。部長の鈴木茜さん、副部長の原田奏さんの司会と東海林恵里子教諭のトークと指揮で楽しく進行しました。終了後、吉原チームの応援団からエールをいただく場面もあり、地域の方々から愛されていることを実感いたしました。

